

棚割システム 共通棚割情報仕様書

初 版 2000年4月 バージョン1.0制定
第2版 2005年8月 バージョン2.0制定
第3版 2013年10月 バージョン3.0制定

棚割システム研究推進会

I. 共通棚割情報(PTS)について

1. 内容説明

小売店が店頭で商品陳列を行う目的で、コンピュータ上で棚割のシミュレーション作業を行うソフトウェアをプランogramソフト(棚割ソフト)と呼ぶ。

棚割ソフト利用ユーザー間において、異なるソフトウェアが導入されていた場合、シミュレーションされた棚割モデルは別のソフトウェアでは再現できない。

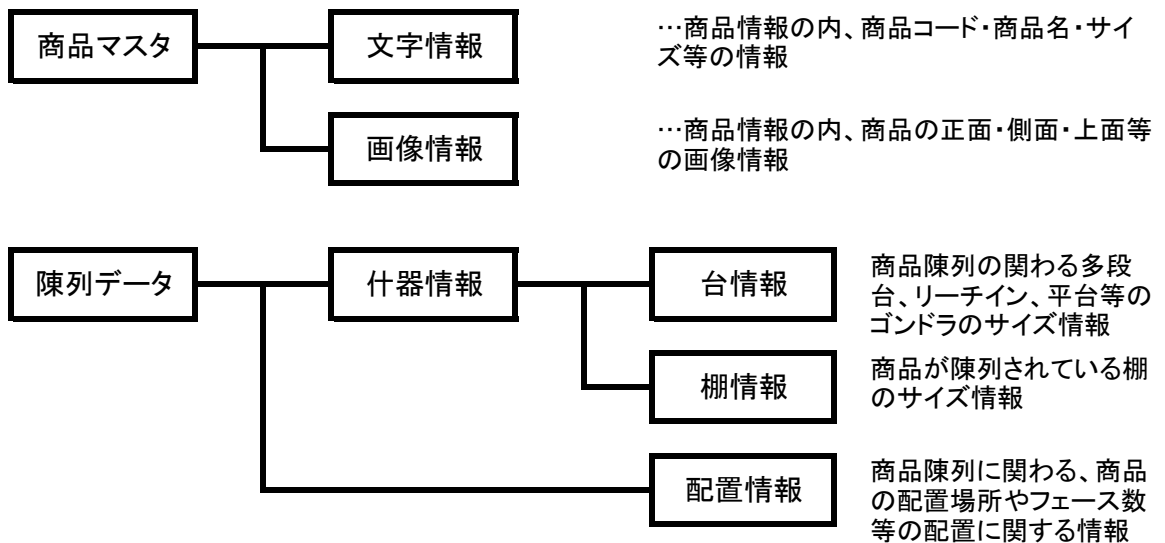
このため、各棚割ソフトで作成されたシミュレーション結果を標準的に受け渡しを行い、異なる棚割ソフト間であっても出来上がった棚割モデルが再現できる標準情報の要件定義が必要となった。

共通棚割情報バージョン2.0(PTS Ver.2.0)では、前バージョンの『配置情報』に加え、『台情報』、『棚情報』の交換も可能とした。

共通棚割情報バージョン3.0(PTS Ver.3.0)では、同一フェース内で上下、または奥に異なる商品が陳列される場合の互換を可能とした。

2. 言葉の定義

各プランogramソフト間でやりとりされると想定される、共通的なデータ種類について以下の様に定義する。



II. 共通棚割情報(PTS)のレコード配列

PTSヘッダー情報	
モデル名(コメント)	
台情報(ヘッダー行)	
台情報 <台1>	* 台数行繰り返し
台情報 <台2>	
台情報 <台3>	
台情報 <台n>	
棚情報(ヘッダー行)	
棚情報 <台1/棚1>	* 棚数行繰り返し
棚情報 <台1/棚2>	
棚情報 <台1/棚3>	
棚情報 <台1/棚n>	
棚情報 <台2/棚1>	
棚情報 <台2/棚2>	
棚情報 <台2/棚3>	
棚情報 <台2/棚n>	
.....	
棚情報 <台n/棚n>	
配置情報(ヘッダー行)	
配置情報 <台1/棚1 -1>	* アイテム数行繰り返し
配置情報 <台1/棚1 -2>	
配置情報 <台1/棚1 -3>	
配置情報 <台1/棚1 -n>	
配置情報 <台1/棚2 -1>	
配置情報 <台1/棚2 -2>	
配置情報 <台1/棚2 -3>	
配置情報 <台1/棚2 -n>	
配置情報 <台1/棚3 -1>	
配置情報 <台1/棚3 -2>	
配置情報 <台1/棚3 -3>	
配置情報 <台1/棚3 -n>	
.....	
配置情報 <台n/棚n -n>	

Ⅲ. 共通棚割情報(PTS)のファイル項目説明

◎:必須項目、●条件時必須

PTSヘッダー情報

NO	必須	項目名	桁数	属性	デフォルト	備考	履歴
1	◎	ファイル管理子	6	かな漢字	共通棚割情報	デフォルト値をそのままセット	
2	◎	バージョン情報	4	英数	V3.0	デフォルト値をそのままセット ※半角文字を使用	2013.10 V3.0
3		出力区分	2	かな漢字		IC:サイバーリンクス JD:ジェー・ディー・イー ソフトウェア・ジャパン NS:日本総合システム RS:リテイルサイエンス EZ:イージーシェルフ その他からの出力はNULL	2014.12 社名変更

モデル名

NO	必須	項目名	桁数	属性	デフォルト	備考	履歴
1		コメント		かな漢字		棚割パターン:モデル名等を自由にセット	

台情報(ヘッダー)

NO	必須	項目名	桁数	属性	デフォルト	備考	履歴
1	◎	項目1		かな漢字	台番号	デフォルト値をそのままセット	
2	◎	項目2		かな漢字	台高さ	デフォルト値をそのままセット	
3	◎	項目3		かな漢字	台幅	デフォルト値をそのままセット	
4	◎	項目4		かな漢字	台奥行	デフォルト値をそのままセット	
5	◎	項目5		かな漢字	台名称	デフォルト値をそのままセット	

台情報

NO	必須	項目名	桁数	属性	デフォルト	備考	履歴
1	◎	台番号	3	数値	1	左から数えた台番号をセット	
2	◎	台高さ	4	数値	1	台(ゴンドラ)の高さをセット(単位はmm)	
3	◎	台幅	4	数値	1	台(ゴンドラ)の台幅をセット(単位はmm)	
4	◎	台奥行	4	数値	1	台(ゴンドラ)の台奥行をセット(単位はmm)	
5		台名称		かな漢字		台(ゴンドラ)の名称をセット	

棚情報(ヘッダー)

NO	必須	項目名	桁数	属性	デフォルト	備考	履歴
1	◎	項目1		かな漢字	台番号	デフォルト値をそのままセット	
2	◎	項目2		かな漢字	棚段番号	デフォルト値をそのままセット	
3	◎	項目3		かな漢字	棚高さ	デフォルト値をそのままセット	
4	◎	項目4		かな漢字	棚幅	デフォルト値をそのままセット	
5	◎	項目5		かな漢字	棚奥行	デフォルト値をそのままセット	
6	◎	項目6		かな漢字	棚厚さ	デフォルト値をそのままセット	
7	◎	項目7		かな漢字	棚種別	デフォルト値をそのままセット	

棚情報

NO	必須	項目名	桁数	属性	デフォルト	備考	履歴
1	◎	台番号	3	数値	1	左から数えた台番号をセット	
2	◎	棚段番号	3	数値	1	下から数えた段番号をセット	
3	◎	棚高さ	4	数値	1	床面から陳列面まで高さをセット(単位はmm)	
4	◎	棚幅	4	数値	1	棚幅をセット(単位はmm)	
5	◎	棚奥行	4	数値	1	棚奥行をセット(単位はmm)	
6	◎	棚厚さ	4	数値	1	棚厚さをセット(単位はmm)	
7	◎	棚種別	1	数値	1	1:棚板(置き) 2:フック(吊し)	

配置情報(ヘッダー)

NO	必須	項目名	桁数	属性	デフォルト	備考	履歴
1	◎	項目名1		かな漢字	台番号	デフォルト値をそのままセット	
2	◎	項目名2		かな漢字	棚段番号	デフォルト値をそのままセット	
3	◎	項目名3		かな漢字	棚位置	デフォルト値をそのままセット	
4	◎	項目名4		かな漢字	商品コード	デフォルト値をそのままセット	
5	◎	項目名5		かな漢字	フェース数	デフォルト値をそのままセット	
6	◎	項目名6		かな漢字	フェース面	デフォルト値をそのままセット	
7	◎	項目名7		かな漢字	フェース回転	デフォルト値をそのままセット	
8	◎	項目名8		かな漢字	積上陳列数	デフォルト値をそのままセット	2013.10 変更
9	◎	項目名9		かな漢字	在庫数量	デフォルト値をそのままセット	
10	◎	項目名10		かな漢字	フェース内陳列区分	デフォルト値をそのままセット	2013.10 追加
11	◎	項目名11		かな漢字	フェース内位置	デフォルト値をそのままセット	2013.10 追加
12	◎	項目名12		かな漢字	奥行陳列数	デフォルト値をそのままセット	2013.10 追加

配置情報

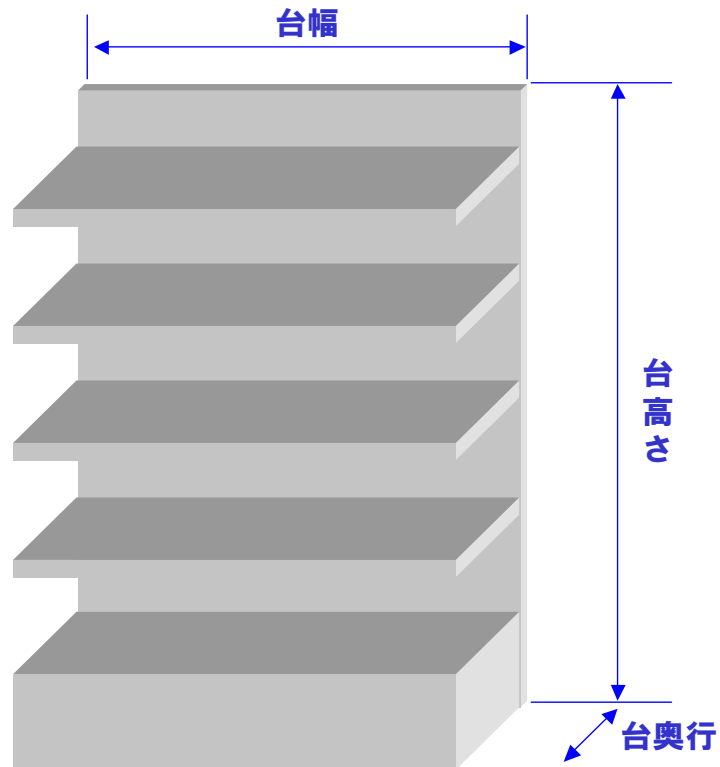
NO	必須	項目名	桁数	属性	デフォルト	備考	履歴
1	◎	台番号	3	数値	1	左から数えた台番号をセット、候補商品:0	
2	◎	棚段番号	3	数値	1	下から数えた段番号をセット、候補商品:0	
3	◎	棚位置	3	数値	1	棚段単位に左から数えた位置番号をセット (SKU単位)、候補商品:0	
4	◎	商品コード	26	数値		商品コードをそのままセットする	
5	◎	フェース数	3	数値	1	1以上の正数	
6	◎	フェース面	1	数値	1	1:正面 2:上面 3:右側面 4:左側面 5:背面 6:底面	
7	◎	フェース回転	1	数値	0	0:回転なし 1:左90度 2:180度 3:右90度	
8	◎	積上陳列数	2	数値	1	カウントできるものの実数合計	2013.10 変更
9	◎	在庫数量	3	数値	(陳列可能数)	当該棚割モデル内の在庫数量をセット 特に在庫数量を設定しない場合は、陳列可能数をセット	2013.10 変更
10		フェース内陳列区分	3	数値		0:同一フェース内に1SKUを奥に並べて陳列し、陳列数を明示する場合利用 1:同一フェース内に複数SKUを上並べて陳列する場合利用 2:同一フェース内に複数SKUを奥に並べて陳列する場合利用	2013.10 追加
11	●	フェース内位置	3	数値		NO10「フェース内陳列区分」が"1"の時、下から上に数えた位置番号(1から連番)をセットする NO10「フェース内陳列区分」が"0"もしくは"2"の時、手前から奥に数えた位置番号(1から連番)をセットする (SKU単位)	2013.10 追加
12	●	奥行陳列数	2	数値		陳列数を指定する場合はカウントできるものの実数合計	2013.10 追加

IV. 留意事項

- ① ファイルはCSV形式(拡張子CSV)とし、ファイル名は任意とする。
- ② レコードの並び順は台、棚、配置情報の順にソートし、商品の陳列順に並べて出力する。
- ③ アイテム単位(連続する同一アイテム・同一面・同一回転は1レコードで表す)とする。
- ④ 必須項目は出力時必須とし、取り込み時は必要な項目のみ取り込む。
- ⑤ 英数カナ、漢字項目はダブルクォーテーション(" ")で囲まない。
- ⑥ 候補商品とは陳列棚上に並ばない商品を指し、必要に応じて取り込む。

V. 台情報、棚情報の詳細説明

1. 台(Gondola)情報



2. 棚情報

